

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art
News 展覧会・イベントスケジュール

No. 67

2015

1 January ▶ 3 March



川瀬巴水《雪晴の吉田》



佐伯祐三《レストラン(オテル・デュ・マルシェ)》1927年 大阪新美術館建設準備室蔵

Yuzo Saeki and Posters in Paris around 1920s 2014年11月15日土 → 2015年1月18日日

大阪で生まれた佐伯祐三(1898～1928)は、東京美術学校を卒業した後にフランスに渡りました。フォーヴィスムの大家ヴラマンクに「アカデミック!」と作品を批判されたことをきっかけに、自らの作風を模索し始めます。やがてパリの石造りの建物やポスターが貼られた壁にモチーフを見出し、独自の様式を確立しました。

本展では、フランス滞在中に制作された佐伯作品を中心に、初期から亡くなるまでの佐伯の画業を辿ります。さらに、佐伯と交流のあった同時代の画家の作品や当時のパリの雰囲気伝えるポスターを展示し、佐伯が魅せられた芸術の都パリの息吹を紹介します。



佐伯祐三《郵便配達夫》1928年
大阪新美術館建設準備室蔵

観覧料

	一 般	大学生
観覧料(前売・団体・宿泊者)	1,000(840)円	500(420)円
パスポート(常設+特別)	1,260円	590円

※小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の児童・生徒は無料。
※県内65歳以上の方(健康保険証等持参)は無料。
※障害者手帳をご持参の方は、ご本人と介護の方1名が無料。
※団体料金は20名以上に適用。
※県内宿泊者割引(山梨県内の旅館等へ宿泊される方が、宿泊当日又は翌日に常設展・特別展を観覧する場合、個人でも団体料金で観覧できます。
(宿泊クーポン券等をご提示ください。)

30歳で夭折した画家 佐伯祐三の 短くも鮮烈な画業を辿る

大阪新美術館
コレクション

佐伯祐三とパリ

ポスターのある街角



鶴田機水《密画金溪図》1910(明治43)年頃 個人蔵

コレクション企画展

山梨の魅力～風景と人々の営み

2015年1月31日(土)～3月1日(日)

※常設展チケットでご覧になれます。

富士山が世界文化遺産に登録され、リニア中央新幹線の開通が現実的になり、とかく山梨が注目されている昨今。山梨の風景や人々の営みを描いた所蔵品と寄託品を中心に、その魅力を改めて見直すスペシャル展示を開催します。

本展では、富士山はもとより、昇仙峡、南アルプスの山々、富士川といった名所風景と、豊かな自然に囲まれた土地で生き生きと過ごす人々の様子を描いた作品を選び抜き紹介します。

今回は、県立博物館をはじめ、ゆかりある作品を所蔵する美術館等からも借用して、日頃、常設展示では実現しない広範囲で充実した展示を試みます。



河内雅溪《昇仙峡之図》制作年不詳 個人蔵

関連イベント

ギャラリー・トーク

日時／2月14日(土) 午後2:00～

平成26年度 新収蔵品展

3月21日(土・祝)～4月12日(日)

平成26年度に新たに収蔵された作品を展示します。

観覧は無料です。



河内美榮子《春の香り》2010年



小林一枝《神護寺近くの茶店》1982年

夜の画家たち —^{ろうそく}蝋燭の光とテネブリスム—

4月18日(土)～6月14日(日)

西洋美術がひとつの頂点を迎えたバロック期の代表的な技法に、夜や闇のなかから、一条の光や炎によって、劇的に対象を浮かび上がらせるテネブリスム(明暗主義)があります。こうした明暗画法は、近代に初めて西洋美術に出会った日本人画家らをも魅了しました。山本芳翠はその絵が「全く光りのついてゐる様だ」と感心し、自らもこの新しい表現に挑んでいます。亜欧堂田善、高橋由一から高島野十郎まで、独自の明暗表現を手がける日本の「夜の画家」たちが出現してきたのです。本展では、これら近代日本の生んだ闇と光の世界の全貌を、17世紀フランスの巨匠ジョルジュ・ド・ラトゥールの作品などとも対比させながら、明らかにしていきます。



近藤浩一路《下京の夜》1913(大正2)年

休館日のお知らせ

年末年始の休館は2014年12月27日(土)～2015年1月1日(木)となります。

年始は1月2日(金)から開館します。

また館内整備のため3月9日(月)～3月16日(月)まで休館いたします。

冬季

ミレー館

萩原英雄記念室

常設展示室II

2014年12月23日(火)～2015年3月22日(日)

2014年12月23日(火)～2015年3月22日(日)

2014年12月16日(火)～2015年3月8日(日)

「幸せの意味を問う美術—シャガールの《花束》を抱えて」

冬の常設展では、「平和」や「幸せ」をキーワードとして、当館所蔵品を紹介します。西洋美術の巨匠マルク・シャガールの《花束》をはじめ、日本の近代洋画を代表する梅原龍三郎、情感豊かな風景を木版画で描写した伊東深水や川瀬巴水、アヴァンギャルドの池田龍雄やシュルレアリスムの米倉壽仁、戦争の悲惨さを版画で表現したケーテ・コルヴィッツ、そして現代美術など、ジャンルや時代を超えた約70点の作品を通して、幸せの意味を考えます。戦後70年にあたる2015年、新しい一年が皆様にとって幸せな年となりますように…。

Pick up ART

川瀬巴水《雪晴の吉田》 1953年 木版 24.1×36.2cm



澄み渡る空にそびえたつ富士。雪で屋根が白くなった木造の家並みは、静寂の中で身を寄せ合っているかのようです。辺り一帯の空気は、背中を丸めて身ぶるいするほど冷たく感じられます。それとも、あまりの清浄さに寒さも忘れ、思わず背筋もびんと伸びてしまうかもしれません。目を凝らして見ると、手前の家の前から、背を向けた二人の人物が、左手奥に向かって道を歩いて行くのが見えます。青い服の人の後ろからついて行く、赤い服を着た人物は、背丈からして子どもでしょうか。次に、富士山に目を移してみると、ごつごつと隆起した山肌まで描写されているのに驚きます。陰影によって立体的に表

されることで、一段と存在感が増しています。

川瀬巴水(1918～1957)は、浮世絵版木の技法を復興させた「新版画」の作家です。東京に生まれ、日本各地の名所を旅して作品にしました。気象の変化や陰影をとらえた写実的な表現や、静かな風景の中にほのかな生活感を描き添えるのが特徴です。

12月23日より下記6点のミレー作品を展示します。

「生誕200年 ミレー展」のため他館に貸出していたミレー作品が帰ってきました。

12月23日よりミレー館にてご覧いただけます。



《夕暮れに羊を連れ帰る羊飼い》



《クレヴィルの断崖》



《落ち穂拾い、夏》



《ポーリス・V・オノの肖像》



《鶏に餌やる女》



《冬(凍えたキューピッド)》

つくろう!あそぼう!造形広場

協力:山梨学院短期大学保育科伊藤ゼミ

日 時／1月10日(土)「風を飛ばそう」
1月31日(土)「重ねて見る絵」
2月28日(土)「組み込み動物」
午後1:30～午後3:30
対 象／幼児から小学生とその家族
場 所／ワークショップ室
(申し込み不要・参加無料・先着100名程度)

美術体験・実技講座

「絵画」油彩画コース 講師:富家昭雄氏

作家の制作に対する考えをうかがいながら、技法の指導を受け制作する講座です。

期 間／1月11日(日)～2月1日(日)
講 師／富家昭雄氏
作家指導日／1月11日(日)・18日(日)・25日(日)・2月1日(日)
午前10:00～午後4:00
申込期間／12月11日～12月20日

オープン・アトリエ(版画以外)

油彩、水彩、日本画、デッサン、彫刻など、自由に制作できる場所を提供します。

期 間／2月3日(火)～3月1日(日)
午前9:00～午後4:30
申込期間／1月22日～2月1日
※作家による指導はありません。

障がい者のための講座 指導:美術館職員 「色や形を楽しもう!」②

色々な形と色を使って遊んでみましょう。

講 座 日／2月5日(木)
①午前10:00～11:30
②午後1:30～3:00

上記の①②から希望の時間をお選びください。事前の申し込みは必要ありません。

ご希望があれば保育園、幼稚園、特別支援学級、学校など団体で参加できます。

特別な配慮が必要な場合と、施設・園、学校などの団体参加の場合のみ事前にご連絡ください。

「美術体験・実技講座」の申し込み方法

- 申込方法 往復はがきでお申し込みください。
往信面に①講座名②〒・住所③氏名・年齢(学生の方は学校名と学年)④電話番号(FAX番号)⑤経験の有無を、返信面には郵便番号・住所・氏名を必ず記入してください。
- 申込先
〒400-0065 山梨県甲府市貢川1-4-27
山梨県立美術館「美術体験・実技講座」係

創作教室

卵のからでモザイクを創ろう!

日 時／3月22日(日) ①午前10:00～12:00
②午後1:30～3:30
講 師／安藤彩子(モザイク作家)
対 象／小学生以上
定 員／各回15名程度
申込期間／2月21日(土)～3月18日(水)
※材料費がかかります。くわしくはチラシ、HPをご覧ください。

「創作教室」の申し込み方法

- 申込方法 電話・FAXにてお申し込みください。
①参加希望コース(午前/午後)②氏名(ふりがな)③年齢(学校名・学年)④電話番号(FAX番号)⑤参加される保護者名を必ず記入してください。
- 申込先
山梨県立美術館「創作教室」係 Tel.055-228-3322 Fax.055-228-3324

冬の常設展ギャラリートーク

「幸せの意味を問う美術」展の見どころについて、学芸員がわかりやすく解説します。

日 時／1月31日(土) 午後2:00～
場 所／常設展示室(申し込み不要)
※常設展チケットが必要です。

ミュージアム・シアター

美術館では毎月美術に関する映画を上映しています。

1月24日(土) 冬の常設展関連映画会
『シャガール:ロシアとロバとその他のものに』(52分)
2月28日(土) 「山梨の魅力～風景と人々の営み」展関連映画会
『大菩薩峠』(120分)
時 間／午後1:30～
場 所／総合実習室(申し込み不要、入場無料)
※プログラムは変更になる場合があります。
※3月はお休みします。

美術館ロビーコンサート

日 時／毎週日曜日 午後2:00～2:30
演 奏／県内音楽家の皆さんによるアンサンブル
場 所／本館1Fロビー(申し込み不要、入場無料)

2015年ニューイヤーコンサート

日 時／1月17日(土) 開場午後1:30 開演午後2:00
演 奏／山梨交響楽団
場 所／総合実習室(申し込み不要、鑑賞料無料)
※12:30から会場前にて入場整理券を配布いたします。(先着120名様)

1 January → 3 March

展 覧 会 名	会 期	会 場	問い合わせ先
第64回 教育祭 県下小中学校 図工・美術作品展	1月 4日(日)～1月11日(日)	A・B・C	055-228-3165
第58回 徹墨会展	1月12日(月)～1月18日(日)	A・B・C	090-1611-7498
山梨書作家連盟 特別展 山梨の書人II	1月20日(火)～1月25日(日)	A・B	055-275-6313
古屋 桃与展	1月20日(火)～1月25日(日)	C	080-5456-2505
第42回 山梨美術協会 会員展	1月27日(火)～2月 1日(日)	A・B・C	0554-43-5508
第30回 春陽会山梨研究会・第56回やまなみ会展	2月 3日(火)～2月 8日(日)	A・B	0554-43-3329
第9回 TAO展	2月 3日(火)～2月 8日(日)	C	055-224-5479
第64回 山梨大学卒業・修了制作展	2月10日(火)～2月15日(日)	A・B	055-220-8333
リシプロカル展	2月10日(火)～2月15日(日)	C	055-253-5618
第33回 山梨墨画院展	2月17日(火)～2月22日(日)	A・B	055-253-6181
平成26年度(第37回)NHKギャラリー賞	2月17日(火)～2月22日(日)	C	055-255-2114
第64回 教育祭県下小中学校書きぞめ大会展覧会	2月24日(火)～3月 1日(日)	A	055-228-3165
第33回 蒼の会書展	2月24日(火)～3月 1日(日)	B	090-8016-2138
第41回 玄遠書道師範会 会員展	3月 3日(火)～3月 8日(日)	A・B・C	055-233-6504
2015山梨・人ねっこアート展	3月17日(火)～3月22日(日)	A・B	0553-23-2427
第15回 虹の谷の美術展	3月24日(火)～3月29日(日)	A	090-7836-9192
東土会絵画展	3月24日(火)～3月29日(日)	B	055-264-2108
石和絵の会	3月24日(火)～3月29日(日)	C	0553-47-3289
第37回 ニッコールクラブ山梨支部写真展	3月31日(火)～4月 5日(日)	A	0553-47-0754
陶幸会作陶展	3月31日(火)～4月 5日(日)	B	0553-33-9824
第12回 ひかり&彩合同作品展	3月31日(火)～4月 5日(日)	C	055-228-1864

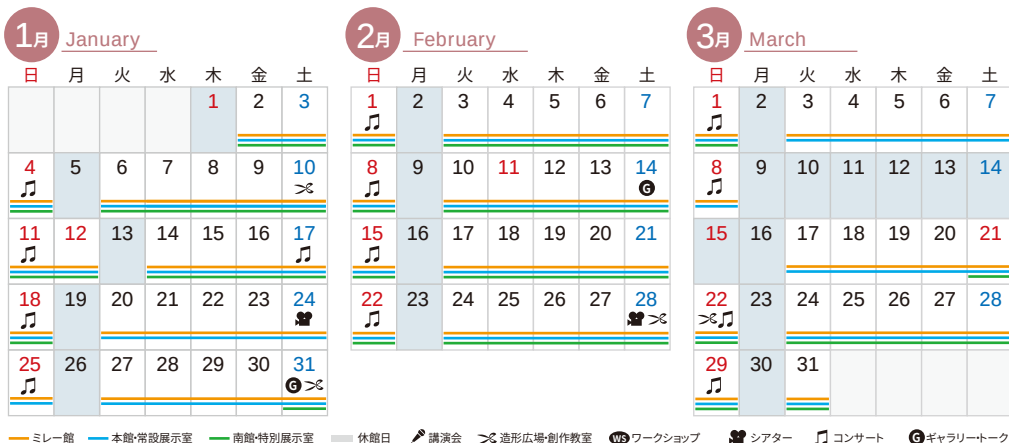
※公開時間や展覧会の内容については、各団体にお問い合わせください。

※県民ギャラリーABの使用申し込みは、1月4日(15年12月分)、2月1日(16年1月分)、3月1日(16年2月分)です。

県民ギャラリーCの使用決定日は、2月1日(15年7月～9月分)です。いずれも、午前10時までに美術館会議室にお集まりください。

県民ギャラリーCの使用希望の際は、使用決定日の2週間前(1月17日)までに施設利用計画書の提出が必要です。詳細はお問い合わせください。

展覧会カレンダー Exhibition Calendar



ご案内 Information

利用のご案内

■ 開館時間

午前9:00～午後5:00（入館は午後4:30まで）

■ 休館日

1月 1・5・13・19・26日

2月 2・9・16・23日

3月 2・9～16・23・30日

※2014年12月27日～2015年1月1日は年末年始のため休館

※3月9日(月)～16日(月)は館内整備のため休館

■ 観覧料

特別展は観覧料等変更になる場合があります。

		一般	大学生
パスポート(常設+特別)		1,260円	590円
常設展	個人	510円	210円
	団体	※420円	※170円
特別展	個人	1,000円	500円
	前売・団体	※840円	※420円
美術館/文学館 常設展共通券		670円	340円

※20名以上の団体、前売券、県内宿泊者割引に適用。

■ その他割引について

		常設展	特別展
小・中・高・特別支援学校生		無	料
65歳以上 (健康保険証等持参)	県内	無	料
	県外	無	料
通常料金			
障害者手帳所持者とその介護者1名		無	料

※教育課程(授業等)による観覧は、事前に申請が必要になります。

■ 年間パスポート(定期観覧券)

発行日から1年間、山梨県立美術館の常設展・特別展を何回でも観覧できる便利でお得なパスポートです。

一般:3,080円 大学生:1,540円

■ 4館共通定期観覧券の販売について

発行日から1年間、県立美術館・博物館・考古博物館・文学館の常設展・企画展(特別展)を何回でも観覧できる、お得な観覧券(ミュージアム甲斐in券)です。

一般:5,150円 大学生:2,580円

※年間パスポートと4館共通定期観覧券をお持ちの方は、ミュージアム・ショップを1割引でご利用できます。

サービス

【ロッカールーム】

美術館の観覧者は、無料ロッカーがご利用できます。
(使用した100円は使用後に戻ります)

【駐車場】

乗用車345台、バス16台、
身障者専用6台の無料駐車場がご利用できます。

【ボランティア・デスク】

ボランティアによる館内のご案内、道路案内、
クローカーサービスなどを行っております。

【車椅子、ベビーカー、ベビーチェア、トイレ】

車椅子8台、ベビーカー2台を用意しております。
ご利用になりたい方は、館職員までお申し出ください。
オストメイト用トイレ1ヶ所、
各トイレにはベビーチェアがごございます。

【ミュージアム・ショップ】

1Fミュージアム・ショップではカタログ、書籍、ポストカード、
複製画などを販売しております。
クレジットカードもご利用できます。

【レストラン・カフェ「Art Archives(アート・アーカイブス)」】

約70席、お食事・カフェが楽しめます。
(レストラン直通055-232-3855)

交通のご案内

中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

●料金所を昇仙峡・湯村方面へ出て、200m先を左折、徳行立体南交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貢川交番前交差点を左折、国道52号を約1km左側。

JR中央本線甲府駅より

●甲府駅バスターミナル(南口)6番乗り場から発車するすべてのバスで約15分、「県立美術館」下車。

●タクシーで約15分。(料金1,700円程度)

昇仙峡より

●敷島営業所行バスで「県立美術館」下車。

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

〒400-0065 甲府市貢川1-4-27 Tel.055-228-3322 Fax.055-228-3324

http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/

